

【中小企業景況調査】  
**報告書**

平成31年1月～3月期

令和元年5月

新潟県商工会連合会

# 目 次

I 中小企業景況調査要領	1
II 全国の景況概要	3
III 県内産業全体の景況概要	3
IV 産業別景況概要	
1 製造業	5
2 建設業	9
3 小売業	13
4 サービス業	17

# I 中小企業景況調査要領

## 1 調査対象

- (1) 対象地区 関川村、中条町、白根、吉田、巻、栃尾、中之島町、越路町、広神、湯沢町、水沢、小国町、頸城、相川町、羽茂の15商工会地区
- (2) 対象企業数 225企業
- (3) 回答企業数 225企業（回答率100.0%）

## 2 調査対象時点

平成31年1～3月期を対象とし、調査時点は平成31年3月1日（金）とした。

## 3 調査方法

- (1) 調査対象商工会所属の経営指導員による訪問面接調査
- (2) 調査対象企業の抽出は、業種・規模等を勘案した有意抽出法による。

## 4 調査対象と回答企業の構成

業種別	区分	調査対象		有効回答	
		企業数	構成比	企業数	構成比
製造業		44	19.6%	44	19.6%
建設業		36	16.0%	36	16.0%
小売業		59	26.2%	59	26.2%
サービス業		86	38.2%	86	38.2%
合計		225	100.0%	225	100.0%

## 分析方法とD I

本報告書中の「D I」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。


（例）売上高で前期との比較を行う。その結果、「増加」企業が50%、「不変」企業が20%、「減少」企業が30%となった場合

「D I」値…50（増加）－30（減少）＝20

となり、全体としての経営者の売上高に対する上昇（好転）の度合を表している。（「不変」企業は計算外となる。）

本調査は中小企業の景気の動向について、その実態と要因を四半期毎に前期と前年同期比及び来期見通しの分析をしており、D Iの値により天気図で区分している。

## 景況天気図の見方

天気図	天気	D I
	快晴	30.1 以上
	晴	30.0 } 10.1
	薄曇	10.0 } △10.0
	曇	△10.1 } △30.0
	雨	△30.1 以下

業種別回答企業数一覧表（中分類）

業 種	回答企業数	構 成 比
<b>製 造 業</b>	<b>44</b>	<b>100.0%</b>
食料品製造業	15	34.0%
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.3%
繊維工業	1	2.3%
衣服・その他の繊維製品製造業	1	2.3%
木材・木製品製造業	1	2.3%
家具・装備品製造業	2	4.5%
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0%
印刷・同関連業	4	9.1%
化学工業	0	0.0%
プラスチック製品製造業	0	0.0%
窯業・土石製品製造業	0	0.0%
金属製品製造業	8	18.2%
一般機械器具製造業	3	6.8%
電気機械器具製造業	2	4.5%
輸送用機械器具製造業	1	2.3%
精密機械器具製造業	0	0.0%
その他の製造業	5	11.4%
<b>建 設 業</b>	<b>36</b>	<b>100.0%</b>
総合工事業	20	55.6%
職別工事業	13	36.1%
設備工事業	3	8.3%
<b>小 売 業</b>	<b>59</b>	<b>100.0%</b>
各種商品小売業	0	0.0%
織物・衣服・身の回り品小売業	8	13.6%
飲食料品小売業	25	42.4%
自動車・自転車小売業	5	8.5%
家具・建具・じゅう器小売業	4	6.8%
その他の小売業	17	28.7%
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<b>86</b>	<b>100.0%</b>
一般飲食店（一般・遊興）	30	34.9%
宿泊業	10	11.6%
運送業	1	1.2%
自動車整備業	7	8.1%
洗濯・理美容業	28	32.6%
その他のサービス業	10	11.6%

## II 全国の景況概要

【産業全体】 製造業・小売業で後退、中小企業景気に陰り

31年1月～3月期の中小企業景況調査結果（全国）によると、全産業のD I（景気動向指数・前年同期比）は、主要3D I（売上高、採算、資金繰り）がそろって悪化し、中小企業景況全体に若干の陰りがみられた。なお、各業種の結果は以下のとおり。

製造業：輸出関連業種で大幅に悪化し、売上高・採算の悪化が顕著

建設業：人手不足は深刻ながら改善傾向を維持

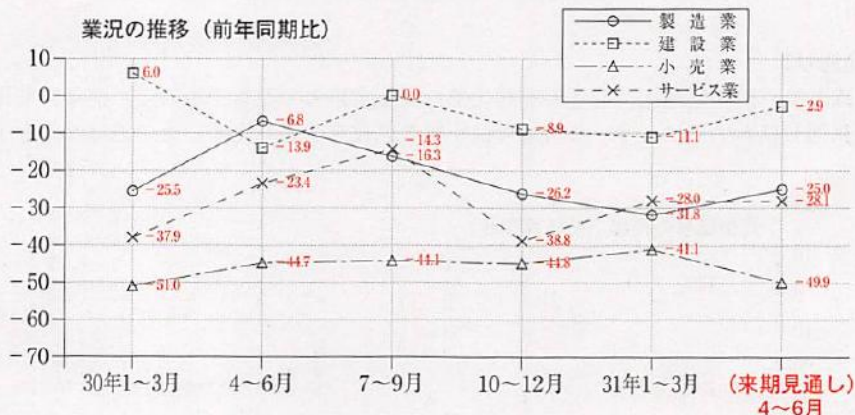
小売業：広範な地域・業種で後退し、低迷状態が続く

サービス業：宿泊業、洗濯・理美容業を中心に低水準

## III 県内産業全体の景況概要

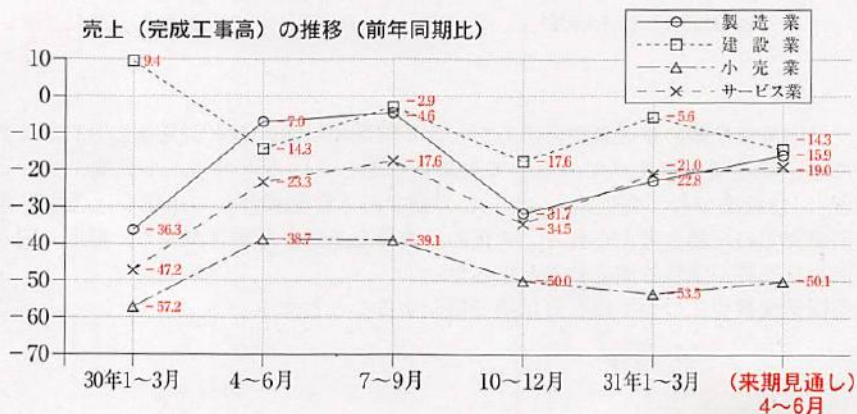
【業況】

業況D Iを見ると、前年同期比における前期比で、製造業、建設業で悪化を示す一方、小売業、サービス業で改善を示した。前年同期比における来期の見通しにおいては、小売業、サービス業で悪化を予想したが、製造業、建設業では改善を予想する結果となった。



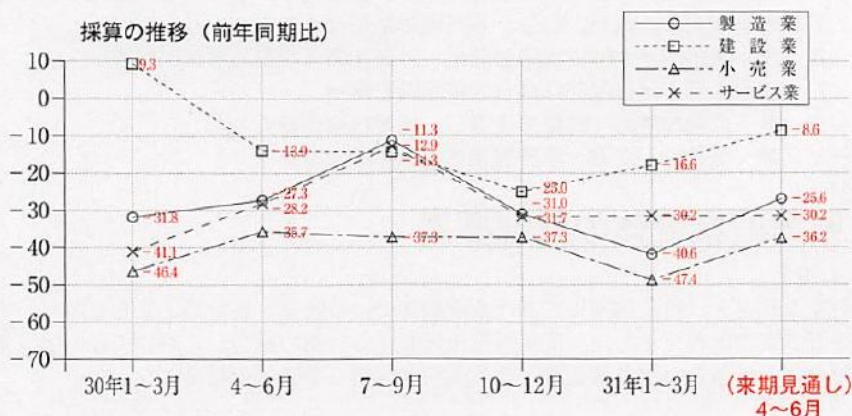
【売上高】

売上高D I（加工高・完成工事高・収入高を含む）は、前年同期比における前期比で、小売業以外で改善を示した。前年同期比における来期見通しについては、建設業では小幅な悪化を予想したが、その他は改善を予想している。



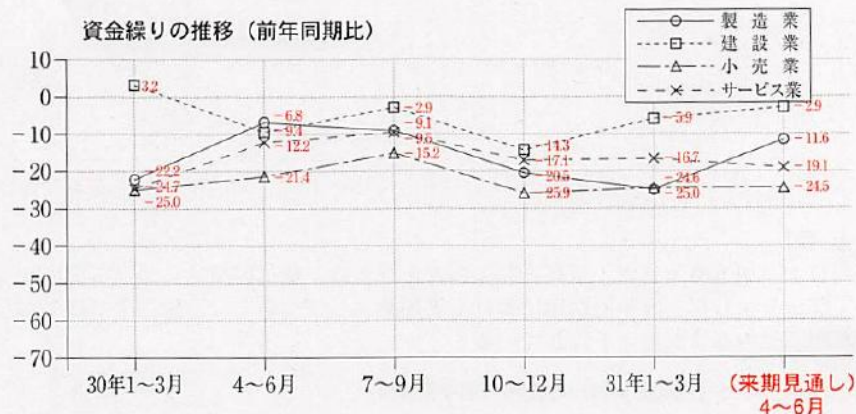
## 【採 算】

採算は、前年同期比における前期比で、製造業、小売業で悪化を示す一方、建設業、サービス業で改善を示した。前年同期比における来期見通しについては、サービス業で横ばい、その他の業種で改善を予想している。



## 【資金繰り】

資金繰りは、前年同期比における前期比で、製造業以外で改善を示した。前年同期比における来期見通しにおいては、サービス業では小幅な悪化を予想したが、その他は改善を予想している。



以上、県内産業全体の景況概要であるが、前年同期比における来期見通し（31年4月～元年6月）では、製造業ではすべての項目で改善を予想しているものの、小売業、サービス業での「業況」、建設業での「売上高」、サービス業での「資金繰り」で小幅な悪化を予想している。今期調査での反動と考えられる。全体的に改善を予想する項目が多く、前期に引き続き緩やかな回復に期待が表れる調査結果となった。

各産業別景況概要については5頁以降で紹介することとする。

## IV 産業別景況概要

### 1 製造業

#### (1) 景況概要

製造業の今期の景況を前年同期比の主要景況項目でみると、1年前（30年1～3月期）との比較において、「売上高」は改善を示したが、「採算」「資金繰り」「業況」は悪化を示した。

今期に設備投資を実施したと回答した企業の割合は20.5%で、前期と比べ9.1ポイントの増加となった。投資内容は前期に引き続き「生産設備」が最も多く、次いで「OA機器」となっている。一方、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は15.9%で、11.4ポイントの減少となっている。

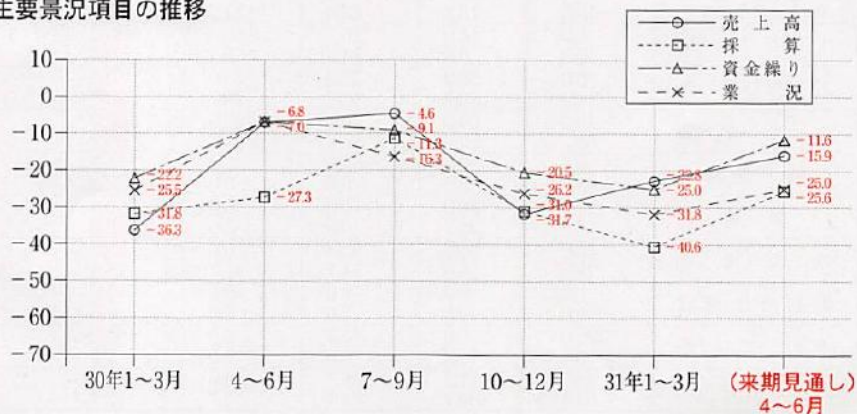
製造業における今期の経営上の問題点としては、前期に引き続き「需要の停滞」が第1位にあげられた。1位から3位にあげられた問題点としては、「需要の停滞」が最も多く43.6%、次いで「原材料価格の上昇」「製品（加工）単価の低下、上昇難」となった。

1位の問題点・上位5つについては、「生産設備の不足・老朽化」「大企業の進出による競争の激化」が上位になり、前回調査時に比べ変化のある結果となった。

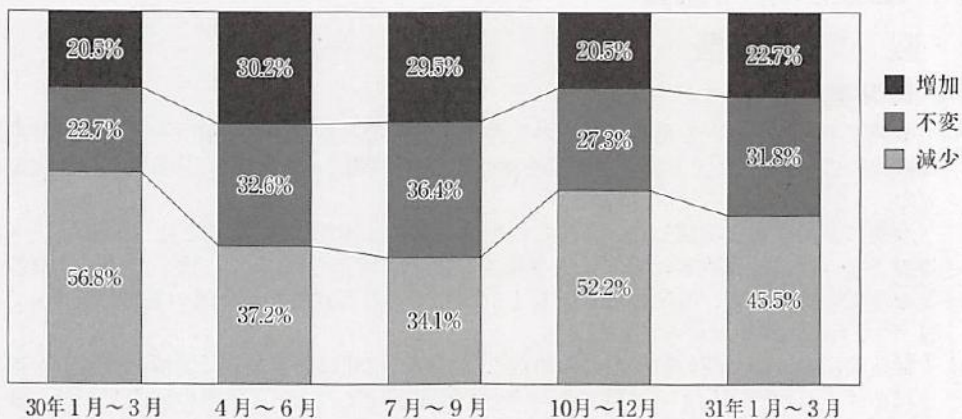
#### (2) 主要景況項目の天気図

期別	項目 年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
		天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
前 年 同 期 比	30年1～3月		△ 36.3		△ 31.8		△ 22.2		△ 25.5
	4～6月		△ 7.0		△ 27.3		△ 6.8		△ 6.8
	7～9月		△ 4.6		△ 11.3		△ 9.1		△ 16.3
	10～12月		△ 31.7		△ 31.0		△ 20.5		△ 26.2
比	31年1～3月		△ 22.8		△ 40.6		△ 25.0		△ 31.8
	(来期見通し) 4～6月		△ 15.9		△ 25.6		△ 11.6		△ 25.0

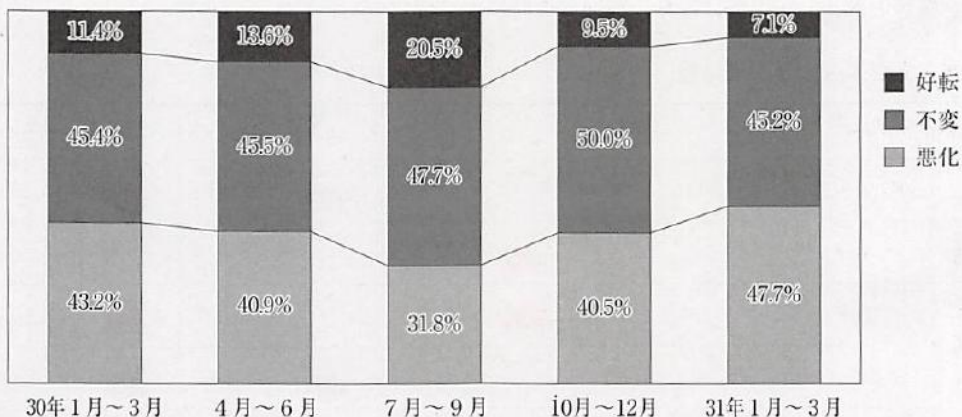
#### (3) 主要景況項目の推移



売上額の状況 - 前年同期比 -



採算の状況 - 前年同期比 -



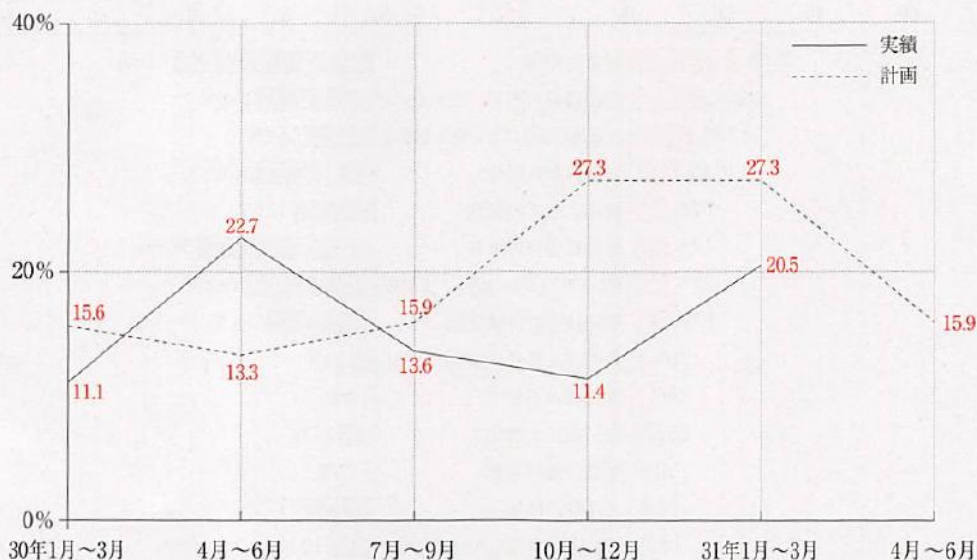
設備投資の状況

(%、上段：実施、下段：計画)

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月	4月～6月
実施した	11.1	22.7	13.6	11.4	20.5	
計画している	15.6	13.3	15.9	27.3	27.3	15.9
土地	0.0	10.0	16.7	40.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	14.3	8.3	0.0	0.0
工場建物	0.0	30.0	33.3	20.0	0.0	0.0
	14.3	33.3	42.9	16.7	25.0	14.3
生産設備	40.0	60.0	66.7	60.0	100.0	71.4
	85.7	50.0	85.7	91.7	66.7	71.4
車輛・運搬具	0.0	50.0	50.0	20.0	11.1	14.3
	28.6	50.0	0.0	0.0	0.0	14.3
付帯施設	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	28.6	33.3	0.0	0.0	0.0	14.3
O A 機器	20.0	30.0	33.3	20.0	22.2	14.3
	28.6	0.0	14.3	16.7	25.0	14.3
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
その他	20.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
実施していない	88.9	77.3	86.4	88.6	79.5	84.1
計画していない	84.4	86.7	84.1	72.7	72.7	84.1



## 設備投資の状況

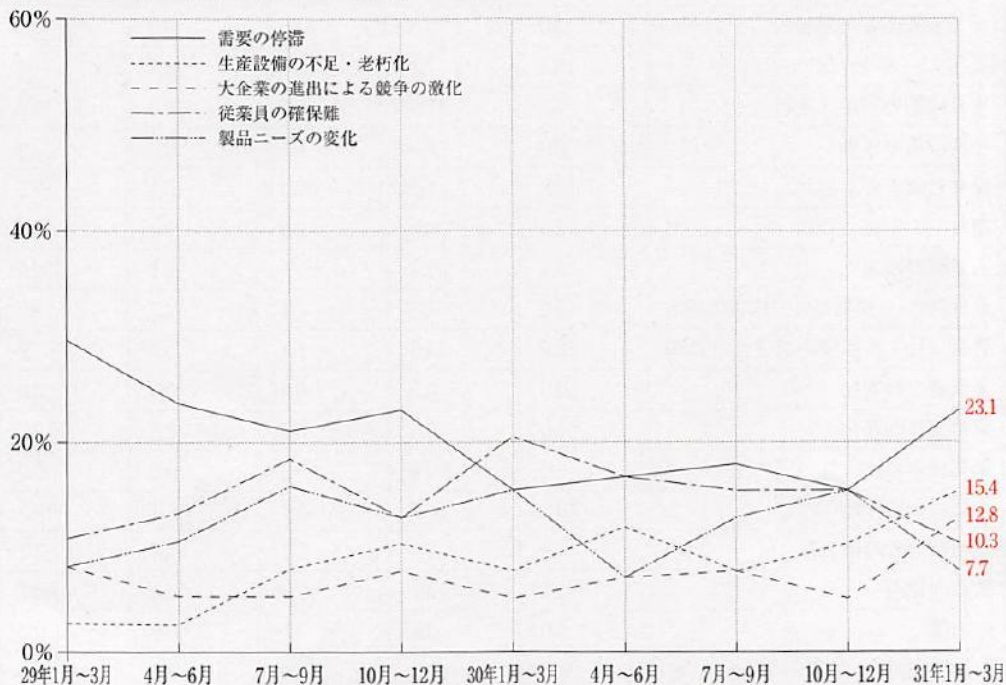


## 経営上の問題点

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月
大企業の進出による競争の激化	5.1	7.1	7.7	5.1	12.8
新規参入業者の増加	0.0	2.4	2.6	0.0	2.6
製品ニーズの変化	15.4	7.1	12.8	15.4	7.7
生産設備の不足・老朽化	7.7	11.9	7.7	10.3	15.4
生産設備の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原材料価格の上昇	12.8	7.1	10.3	15.4	7.7
原材料の不足	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6
人件費の増加	5.1	2.4	2.6	5.1	0.0
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	4.8	5.1	7.7	0.0
製品（加工）単価の低下、上昇難	10.3	14.3	5.1	2.6	7.7
金利負担の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6
事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
従業員の確保難	20.5	16.7	15.4	15.4	10.3
熟練技術者の確保難	5.1	7.1	7.7	5.1	7.7
需要の停滞	15.4	16.7	17.9	15.4	23.1
その他	0.0	2.4	5.1	0.0	0.0
計（問題点有、回答企業数の割合）	86.7	95.5	88.6	88.6	88.6



経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



## 2 建設業

### (1) 景況概要

建設業の今期の景況を前年同期比の主要景況項目でみると、1年前（30年1～3月期）との比較において、すべての項目がマイナスに転じ、大幅な悪化が示される結果となった。

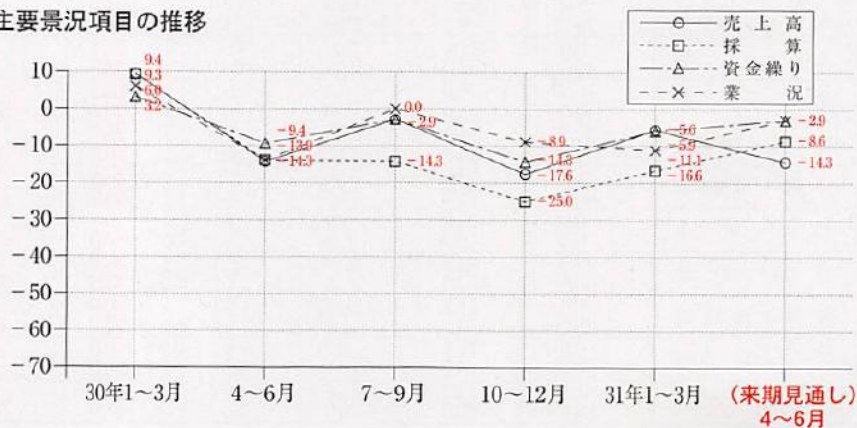
今期に設備投資を実施したと回答した企業の割合は22.2%で、前期と比べ2.8ポイントの増加となった。投資内容は「土地」という回答が37.5%と、過去4期で最も多くなっている。また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は16.7%で、8.4ポイントの増加となっている。

建設業における今期の経営上の問題点としては、3期連続で「従業員の確保難」が第1位となった。第3位には「請負単価の低下、上昇難」があげられた。1位から3位にあげられた問題点としては、「従業員の確保難」が最も多く50.0%、次いで「民間需要の停滞」「熟練技術者の確保難」となり、依然として建設業における人手不足は深刻とみられる。

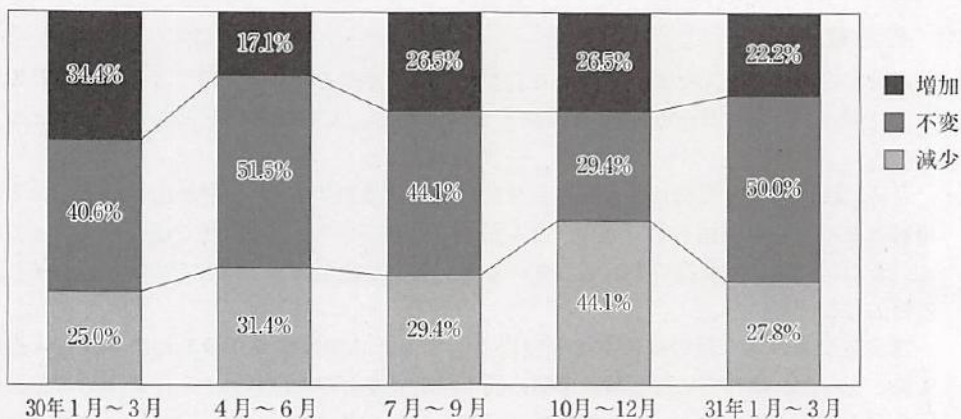
### (2) 主要景況項目の天気図

期別	項目 年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
			DI		DI		DI		DI
前 年 同 期 比	30年1～3月		9.4		9.3		3.2		6.0
	4～6月		△ 14.3		△ 13.9		△ 9.4		△ 13.9
	7～9月		△ 2.9		△ 14.3		△ 2.9		0.0
	10～12月		△ 17.6		△ 25.0		△ 14.3		△ 8.9
	31年1～3月		△ 5.6		△ 16.6		△ 5.9		△ 11.1
	(来期見通し) 4～6月		△ 14.3		△ 8.6		△ 2.9		△ 2.9

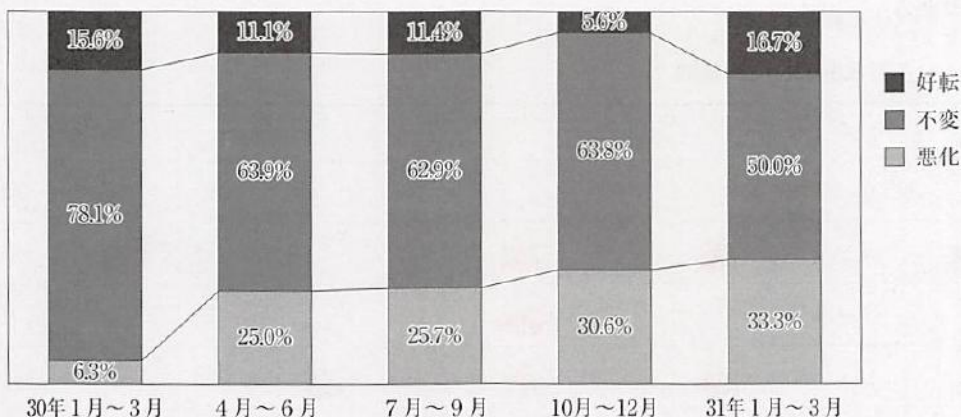
### (3) 主要景況項目の推移



売上額の状況 - 前年同期比 -



採算の状況 - 前年同期比 -

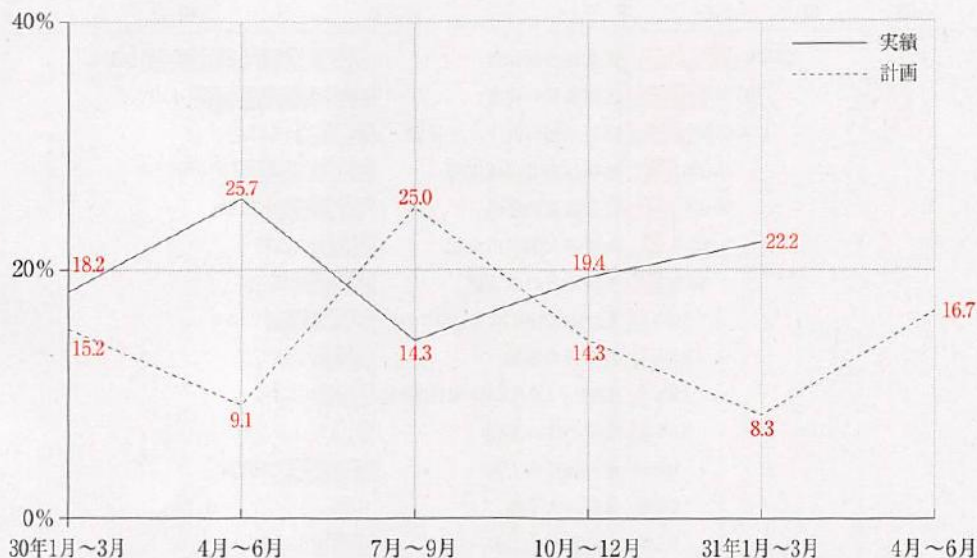


設備投資の状況

(%、上段：実施、下段：計画)

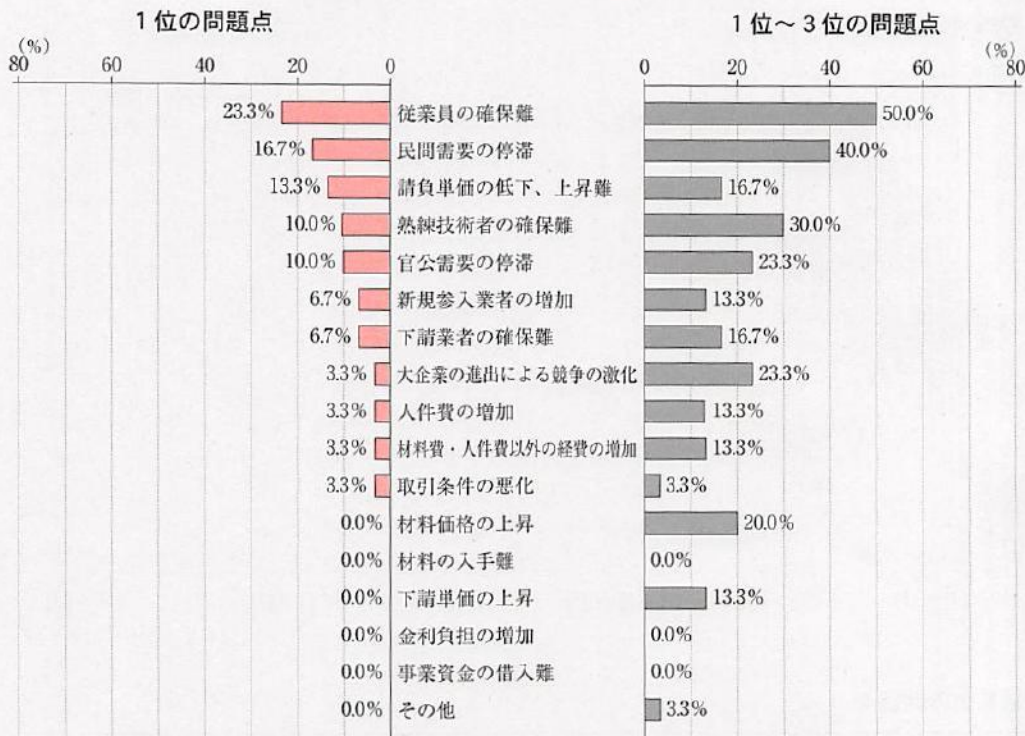
	30年				31年	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
実施した	18.2	25.7	14.3	19.4	22.2	
計画している	15.2	9.1	25.0	14.3	8.3	16.7
土地	0.0	11.1	20.0	28.6	37.5	0.0
建物	16.7	0.0	0.0	0.0	12.5	
	40.0	33.3	0.0	40.0	33.3	33.3
建設機械	50.0	11.1	20.0	28.6	25.0	
	0.0	33.3	22.2	20.0	0.0	33.3
車輛・運搬具	33.3	55.6	60.0	42.9	25.0	
	60.0	33.3	44.4	40.0	66.7	50.0
付帯施設	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	
	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	16.7
O A 機器	33.3	22.2	60.0	28.6	25.0	
	60.0	100.0	22.2	0.0	33.3	33.3
福利厚生施設	0.0	11.1	20.0	0.0	0.0	
	20.0	33.3	11.1	0.0	33.3	16.7
その他	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	
	20.0	0.0	11.1	20.0	0.0	0.0
実施していない	81.8	74.3	85.7	80.6	77.8	
計画していない	84.8	90.9	75.0	85.7	91.7	83.3

## 設備投資の状況

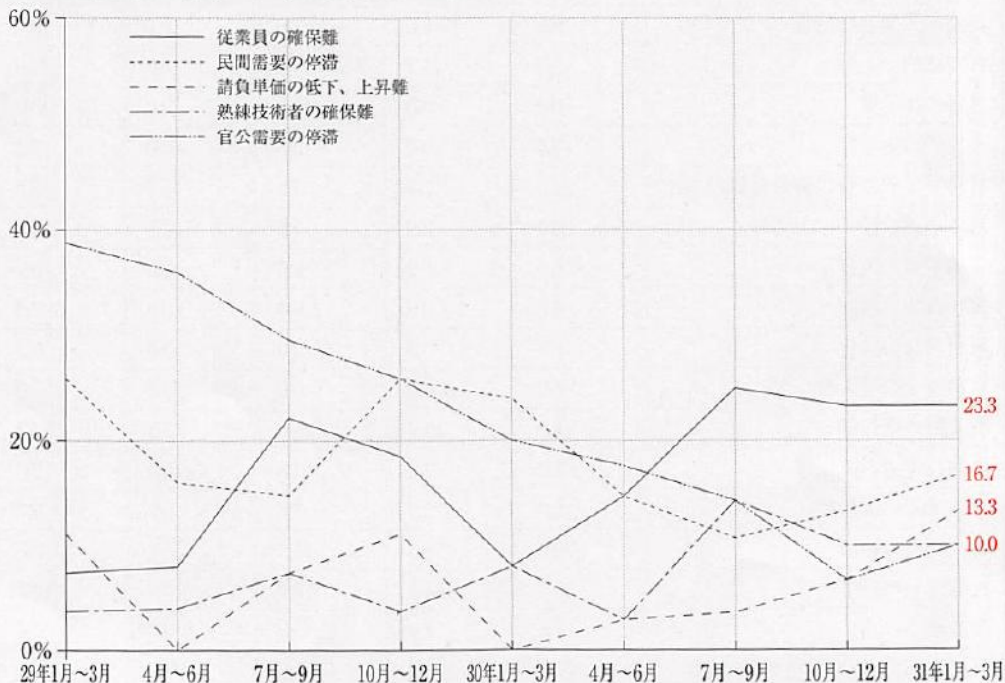


## 経営上の問題点

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月
大企業の進出による競争の激化	8.0	17.6	7.1	6.7	3.3
新規参入業者の増加	8.0	0.0	3.6	6.7	6.7
材料価格の上昇	8.0	14.7	7.1	10.0	0.0
材料の入手難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	0.0	3.6	0.0	3.3
材料費・人件費以外の経費の増加	4.0	2.9	7.1	6.7	3.3
請負単価の低下、上昇難	0.0	2.9	3.6	6.7	13.3
下請単価の上昇	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金利負担の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
事業資金の借入難	0.0	2.9	0.0	3.3	0.0
従業員の確保難	8.0	14.7	25.0	23.3	23.3
熟練技術者の確保難	8.0	2.9	14.3	10.0	10.0
下請業者の確保難	8.0	5.9	3.6	6.7	6.7
官公需要の停滞	20.0	17.6	14.3	6.7	10.0
民間需要の停滞	24.0	14.7	10.7	13.3	16.7
その他	4.0	2.9	0.0	0.0	0.0
計 (問題点有、回答企業数の割合)	75.8	94.4	80.0	83.3	83.3



経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



### 3 小 売 業

#### (1) 景況概要

小売業の今期の景況を前年同期比の主要景況項目で見ると、1年前（30年1～3月期）との比較において、「売上高」「資金繰り」「業況」は改善を示したが、「採算」は小幅な悪化を示した。

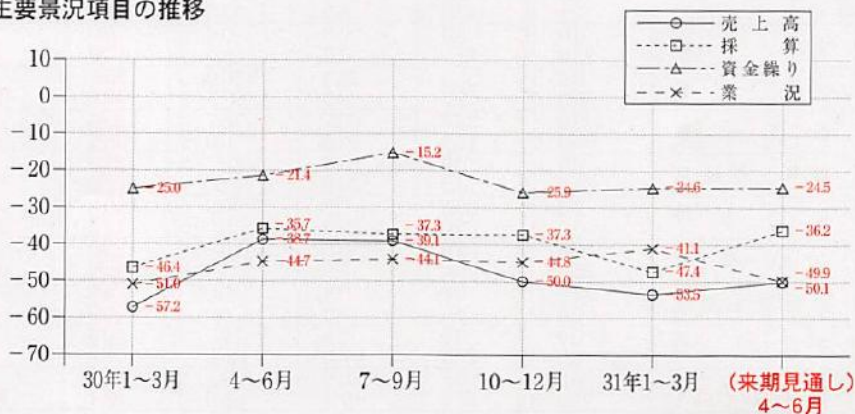
今期に設備投資を実施したと回答した企業の割合は6.8%で、前期と比べ3.4ポイント減少した。投資内容は「付帯施設」という回答が50.0%と、過去4期で最も多くなっている。また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は10.2%で、1.7ポイントの減少となっている。

小売業における今期の経営上の問題点としては、「消費者ニーズの変化」が第1位にあげられた。1位から3位にあげられた問題点については、あげられた項目に前期と比べ大幅な変動はない。1位の問題点・上位5つについては、「需要の停滞」が下がる一方で「販売単価の低下、上昇難」が上がる結果となった。

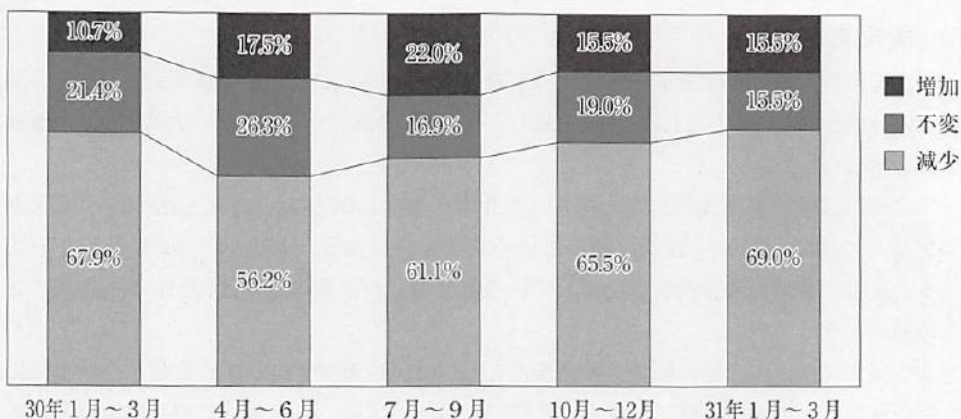
#### (2) 主要景況項目の天気図

期別	項目 年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
		天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
前 年 同 期 比	30年1～3月		△ 57.2		△ 46.4		△ 25.0		△ 51.0
	4～6月		△ 38.7		△ 35.7		△ 21.4		△ 44.7
	7～9月		△ 39.1		△ 37.3		△ 15.2		△ 44.1
	10～12月		△ 50.0		△ 37.3		△ 25.9		△ 44.8
	31年1～3月		△ 53.5		△ 47.4		△ 24.6		△ 41.1
	(来期見通し) 4～6月		△ 50.1		△ 36.2		△ 24.5		△ 49.9

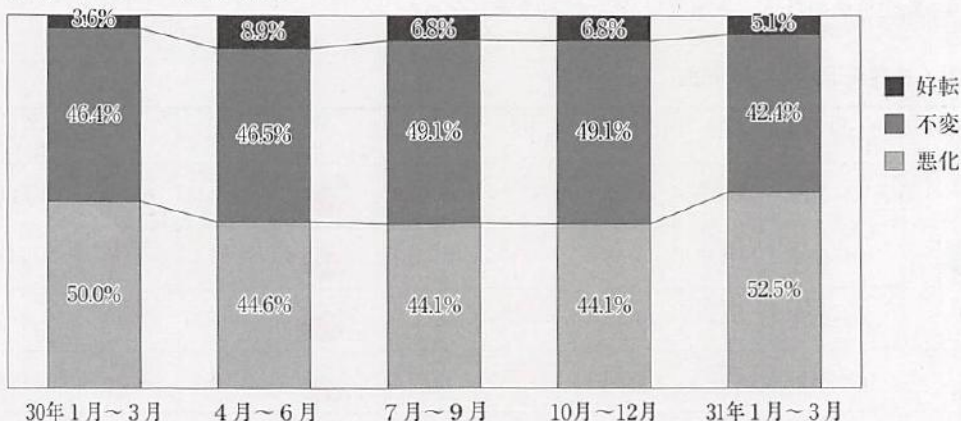
#### (3) 主要景況項目の推移



売上額の状況 - 前年同期比 -



採算の状況 - 前年同期比 -



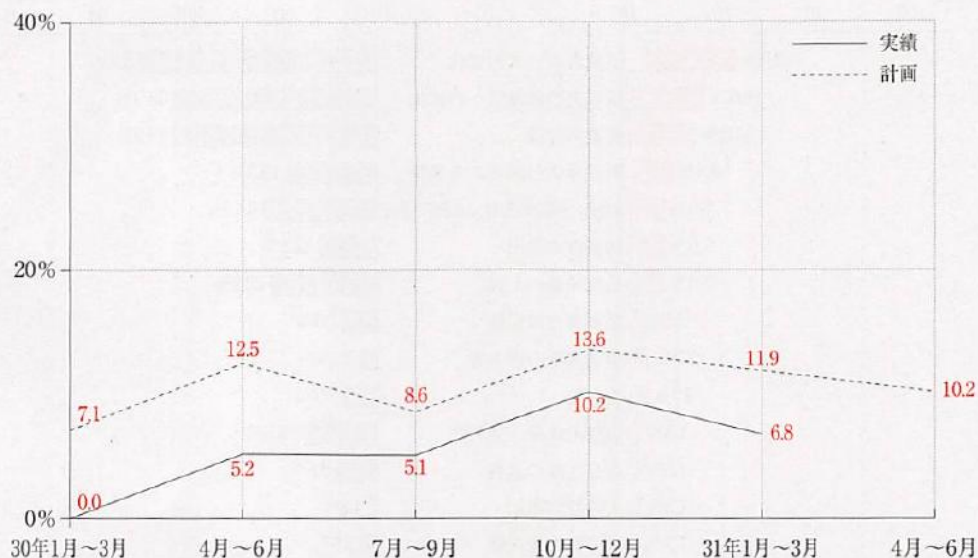
設備投資の状況

(%、上段：実施、下段：計画)

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月	4月～6月
実施した	0.0	5.2	5.1	10.2	6.8	
計画している	7.1	12.5	8.6	13.6	11.9	10.2
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
店舗	0.0	33.3	33.3	50.0	25.0	33.3
販売設備	0.0	33.3	66.7	16.7	25.0	33.3
車輦・運搬具	0.0	0.0	33.3	16.7	25.0	16.7
付帯施設	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	33.3
O A 機器	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	66.7
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
実施していない	100.0	94.8	94.9	89.8	93.2	89.8
計画していない	92.9	87.5	91.4	86.4	88.1	

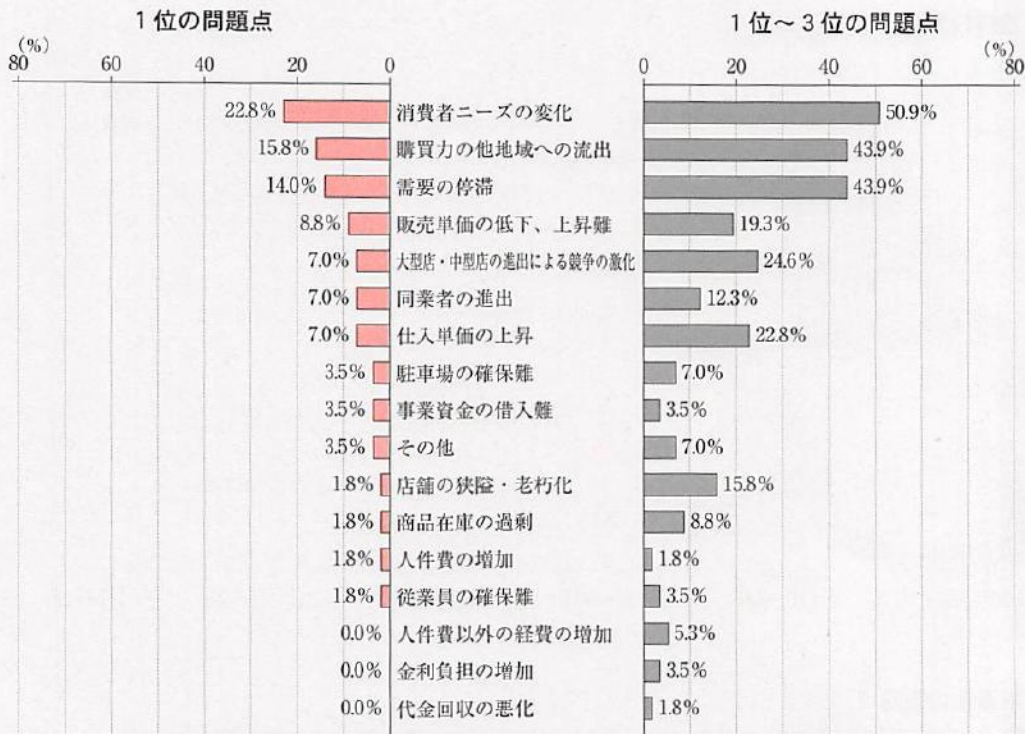


## 設備投資の状況

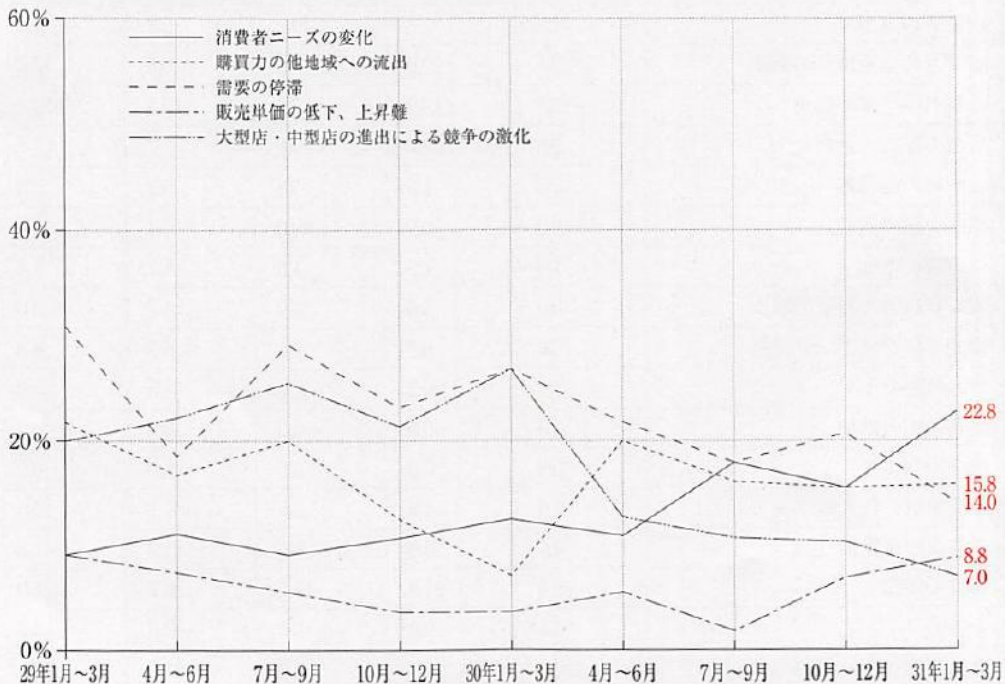


## 経営上の問題点

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月
大型店・中型店の進出による競争の激化	26.8	12.7	10.7	10.3	7.0
同業者の進出	1.8	7.3	10.7	5.2	7.0
購買力の他地域への流出	7.1	20.0	16.1	15.5	15.8
消費者ニーズの変化	12.5	10.9	17.9	15.5	22.8
店舗の狭隘・老朽化	3.6	3.6	7.1	1.7	1.8
駐車場の確保難	3.6	1.8	3.6	5.2	3.5
商品在庫の過剰	0.0	0.0	0.0	3.4	1.8
人件費の増加	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8
人件費以外の経費の増加	0.0	3.6	0.0	1.7	0.0
販売単価の低下、上昇難	3.6	5.5	1.8	6.9	8.8
仕入単価の上昇	7.1	9.1	8.9	8.6	7.0
金利負担の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業資金の借入難	0.0	1.8	3.6	1.7	3.5
従業員の確保難	0.0	0.0	0.0	1.7	1.8
需要の停滞	26.8	21.8	17.9	20.7	14.0
その他	5.4	0.0	0.0	0.0	3.5
計（問題点有、回答企業数の割合）	100.0	94.8	94.9	98.3	96.6



経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



## 4 サービス業

### (1) 景況概要

サービス業の今期の景況を前年同期比の主要景況項目でみると、1年前（30年1～3月期）との比較において、すべての項目で改善を示し、特に「売上高」「採算」で大幅な改善が示される結果となった。

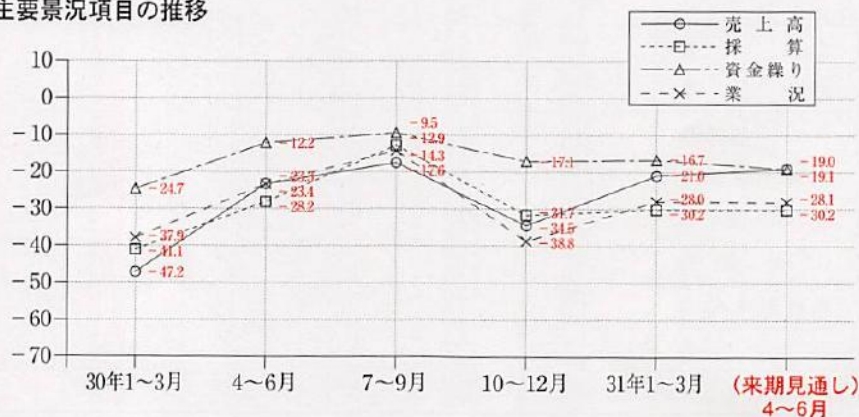
今期に設備投資を実施したと回答した企業の割合は16.3%で、前期と比べ7.2ポイントの減少となった。投資内容は「サービス設備」が最も多く、次いで「車両・運搬具」「その他」となっている。また、来期に設備投資を計画していると回答した企業の割合は10.5%で、3.6ポイントの減少となっている。

サービス業における今期の経営上の問題点としては、前期に引き続き「需要の停滞」が第1位にあげられた。1位から3位にあげられた問題点としては、「材料等仕入単価の上昇」が43.2%で最も多くなり、次いで「利用者ニーズの変化」となった。1位の問題点・上位5つについてあげられた項目に大幅な変動はなかった。

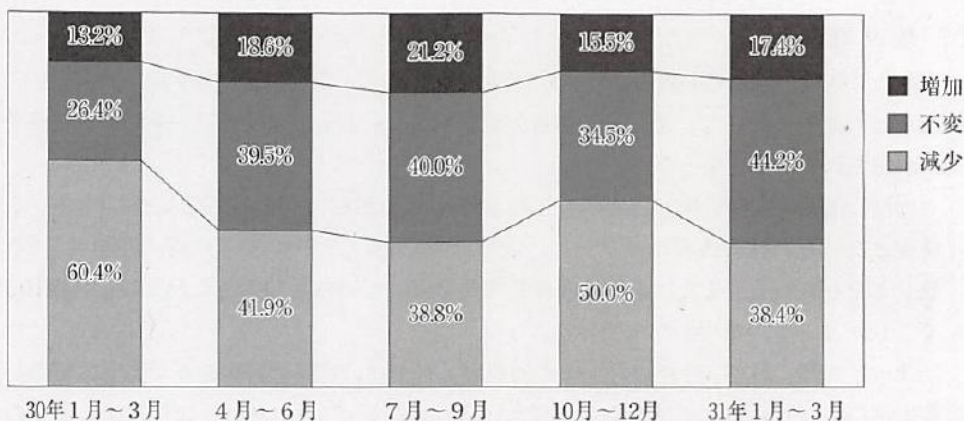
### (2) 主要景況項目の天気図

期別	項目 年月	売上高		採算		資金繰り		業況	
		天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
前 年 同 期 比	30年1～3月		△ 47.2		△ 41.1		△ 24.7		△ 37.9
	4～6月		△ 23.3		△ 28.2		△ 12.2		△ 23.4
	7～9月		△ 17.6		△ 12.9		△ 9.5		△ 14.3
	10～12月		△ 34.5		△ 31.7		△ 17.1		△ 38.8
	31年1～3月		△ 21.0		△ 30.2		△ 16.7		△ 28.0
	(来期見通し) 4～6月		△ 19.0		△ 30.2		△ 19.1		△ 28.1

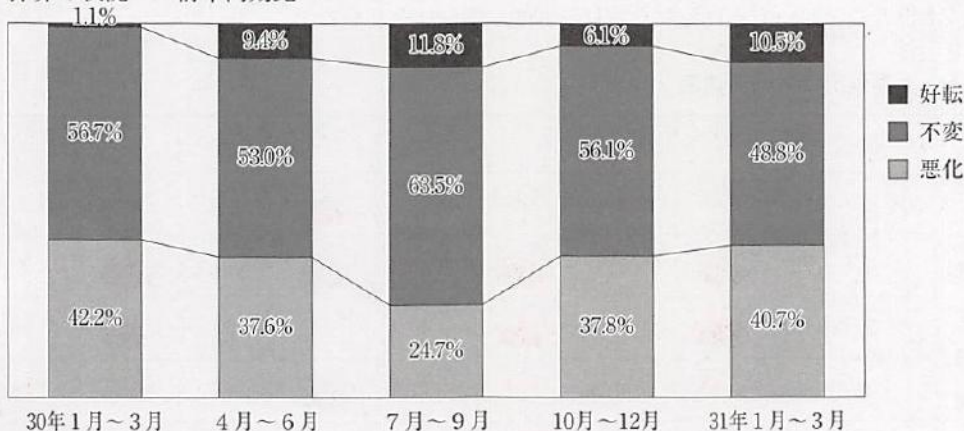
### (3) 主要景況項目の推移



売上額の状況 - 前年同期比 -



採算の状況 - 前年同期比 -

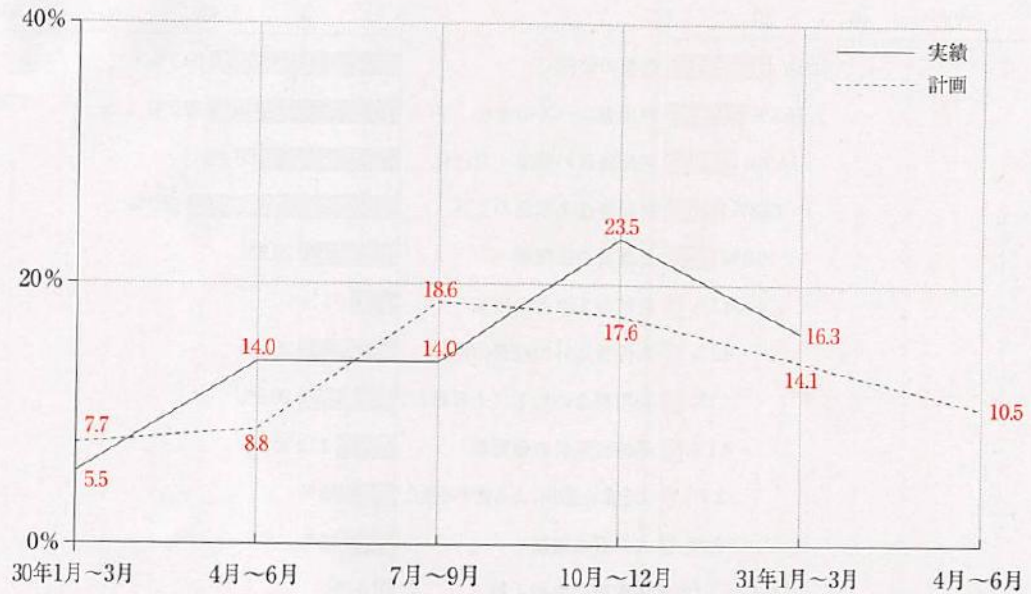


設備投資の状況

(%, 上段：実施、下段：計画)

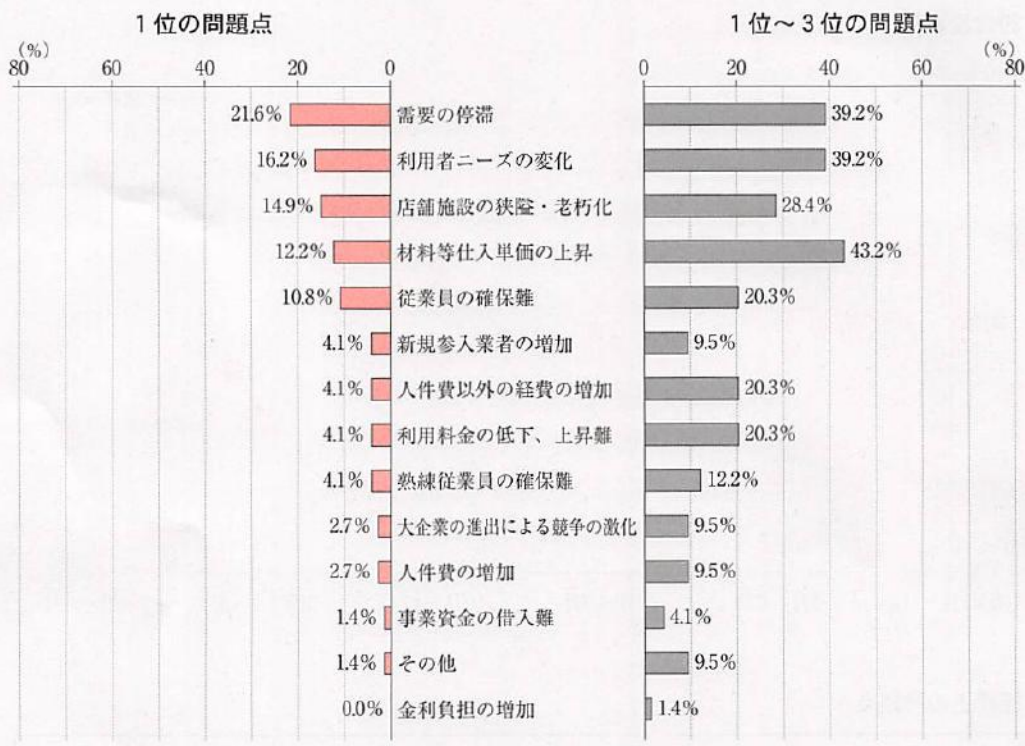
	30年				31年	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
実施した	5.5	14.0	14.0	23.5	16.3	
計画している	7.7	8.8	18.6	17.6	14.1	10.5
土地	0.0	8.3	8.3	10.0	7.1	
	0.0	0.0	6.2	6.7	0.0	0.0
建物	20.0	25.0	8.3	20.0	7.1	
	14.3	37.5	18.7	20.0	16.7	0.0
サービス設備	40.0	33.3	33.3	20.0	42.9	
	28.6	37.5	31.2	40.0	50.0	22.2
車輛・運搬具	40.0	8.3	8.3	20.0	28.6	
	14.3	0.0	25.0	26.7	16.7	33.3
付帯施設	20.0	25.0	25.0	15.0	14.3	
	28.6	0.0	12.5	13.3	16.7	22.2
O A 機器	0.0	0.0	0.0	20.0	14.3	
	14.3	25.0	12.5	6.7	8.3	33.3
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	8.3	16.7	5.0	28.6	
	0.0	12.5	25.0	13.3	16.7	22.2
実施していない	94.5	86.0	86.0	76.5	83.7	
計画していない	92.3	91.2	81.4	82.4	85.9	89.5

## 設備投資の状況

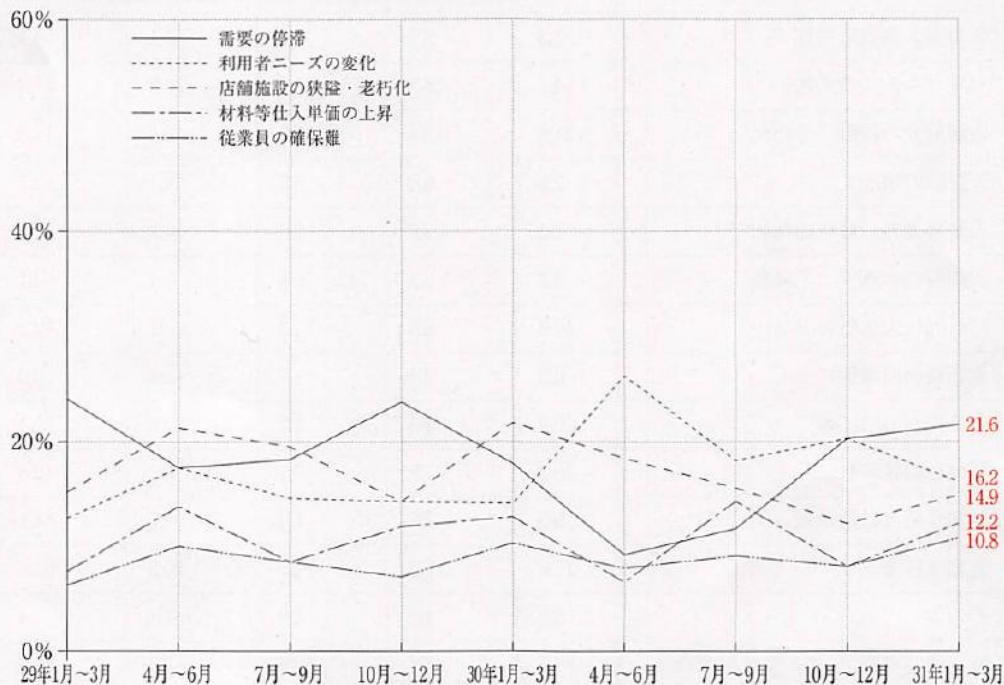


## 経営上の問題点

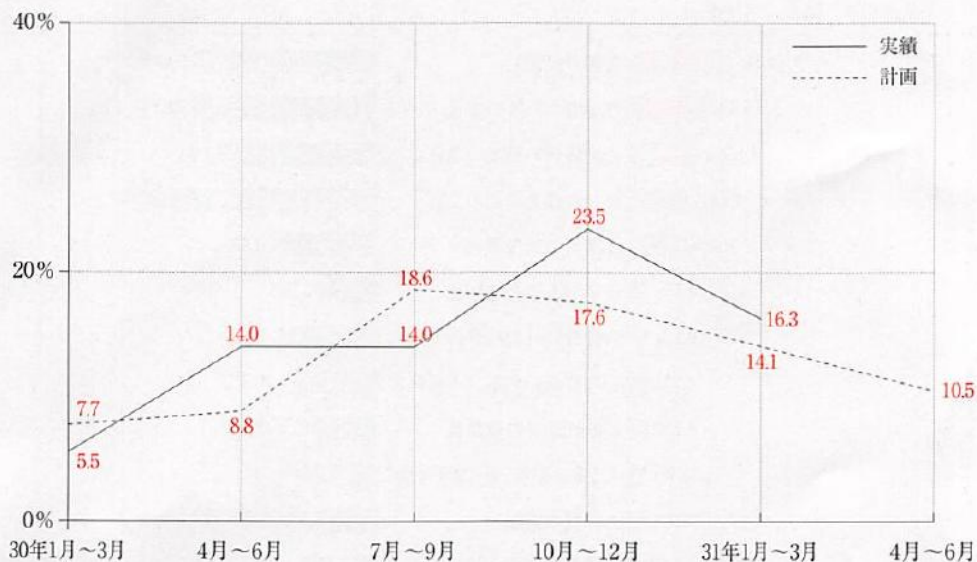
	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月
大企業の進出による競争の激化	6.4	3.9	3.9	5.4	2.7
新規参入業者の増加	3.8	3.9	7.8	4.1	4.1
利用者ニーズの変化	14.1	26.3	18.2	20.3	16.2
店舗施設の狭隘・老朽化	21.8	18.4	15.6	12.2	14.9
人件費の増加	2.6	6.6	6.5	4.1	2.7
人件費以外の経費の増加	2.6	3.9	2.6	4.1	4.1
利用料金の低下、上昇難	3.8	5.3	6.5	5.4	4.1
材料等仕入単価の上昇	12.8	6.6	14.3	8.1	12.2
金利負担の増加	0.0	2.6	1.3	1.4	0.0
事業資金の借入難	0.0	1.3	1.3	1.4	1.4
従業員の確保難	10.3	7.9	9.1	8.1	10.8
熟練従業員の確保難	0.0	2.6	1.3	4.1	4.1
需要の停滞	17.9	9.2	11.7	20.3	21.6
その他	3.8	1.3	0.0	1.4	1.4
計 (問題点有、回答企業数の割合)	85.7	88.4	89.5	87.1	86.0



経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



## 設備投資の状況



## 経営上の問題点

	30年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	31年 1月～3月
大企業の進出による競争の激化	6.4	3.9	3.9	5.4	2.7
新規参入業者の増加	3.8	3.9	7.8	4.1	4.1
利用者ニーズの変化	14.1	26.3	18.2	20.3	16.2
店舗施設の狭隘・老朽化	21.8	18.4	15.6	12.2	14.9
人件費の増加	2.6	6.6	6.5	4.1	2.7
人件費以外の経費の増加	2.6	3.9	2.6	4.1	4.1
利用料金の低下、上昇難	3.8	5.3	6.5	5.4	4.1
材料等仕入単価の上昇	12.8	6.6	14.3	8.1	12.2
金利負担の増加	0.0	2.6	1.3	1.4	0.0
事業資金の借入難	0.0	1.3	1.3	1.4	1.4
従業員の確保難	10.3	7.9	9.1	8.1	10.8
熟練従業員の確保難	0.0	2.6	1.3	4.1	4.1
需要の停滞	17.9	9.2	11.7	20.3	21.6
その他	3.8	1.3	0.0	1.4	1.4
計 (問題点有、回答企業数の割合)	85.7	88.4	89.5	87.1	86.0